

2013年1月30日

「ApeosPort-IV / DocuCentre-IV」シリーズ8機種35商品

省エネ大賞 「省エネルギーセンター会長賞」受賞

業界最多12回目の受賞

富士フィルムグループの富士ゼロックス株式会社（本社：東京都港区赤坂、社長：山本忠人）のオフィス向けフルカラーデジタル複合機「ApeosPort-IVシリーズ」4機種^{*1}および「DocuCentre-IVシリーズ」4機種^{*2}計8機種35商品が、一般財団法人「省エネルギーセンター」主催・経済産業省後援の平成24年度省エネ大賞（製品・ビジネスモデル部門）において「省エネルギーセンター会長賞」を受賞いたしました。当社の受賞は12回目で業界最多です。

■ 受賞商品の特長

受賞商品は、独自に開発した「Smart WelcomEyes」技術、「スマート節電」技術、「スリープ高速復帰」技術を一つに統合し(図1)、スリープモードからの『体感待ち時間ゼロ』を実現しました。



また、「スマート節電」技術とIH定着技術などとの組み合わせにより、消費電力を「国際エネルギーestarプログラム」の適合基準であるTEC値^{*3}（2013年改訂予定値）に比べて28～39%に抑えました。

例えば、複合機を『体感待ち時間ゼロ』技術搭載機に置き換えた場合、年間消費電力量を4,162万KWh削減できる計算になります^{*4}。

また受賞商品は、食糧問題と競合しない木質系バイオマス樹脂を部品に初めて導入するなど、天然資源の保全においても先進的な配慮をした商品です。

■ 当社の省エネ商品開発の取り組み

当社は「RealGreen」というコンセプトを掲げ、省エネに代表される地球環境負荷低減と、これと相反する快適性や利便性などの価値を両立することを目指して、技術や商品の開発に取り組んでいます。受賞した8機種は「RealGreen」のコンセ

プロトに基づき、「省エネ」と「使いやすさ」を両立した環境性能を搭載した商品です。

当社は、今後も商品や事業活動において、地球環境負荷低減に積極的に貢献する新しい技術および商品を開発してまいります。

*1 ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275

*2 DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275

*3 プリンターや複写機などのオフィス機器における「概念的 1 週間（稼働とスリープ/オフが繰り返される 5 日間＋スリープ/オフ状態の 2 日間）」の消費電力量

*4 2008 年発売の当社機でスタンバイモードからスリープモードへの移行時間を 1 時間に延長した場合と、20011 年発売の 8 機種を出荷時のスリープ移行時間で使用した場合との比較。

以上